

国指定天壳島鳥獸保護区  
天壳島特別保護地区  
指定計画書(案)

平成 23 年 月 日

環境省

## 1 特別保護地区の概要

### (1) 特別保護地区の名称

天売島特別保護地区

### (2) 特別保護地区の区域

天売島鳥獣保護区のうち、大字天売字千鳥ヶ浦 9-1、9-2 及び 9-3 の区域、千鳥ヶ浦 10 のうち豊畑-17 と豊畑-18-1 との境界線を見透かした線より南側の区域並びに豊畑-80 及び豊畑-81 の区域 (ゴメ岬から赤岩に至る地先岩礁を含む。)

### (3) 特別保護地区の存続期間

平成 23 年 10 月 1 日から平成 43 年 9 月 30 日まで (20 年間)

### (4) 特別保護地区の指定区分

集団繁殖地の保護区

### (5) 特別保護地区の指定目的

当該区域は、羽幌港から西北西約 28km の海上に位置する天売島の北西部一帯と周辺の岩礁から構成されている。

北西部一帯は断崖絶壁が連なり、その崖地岩棚及び上部斜面は、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律 (平成 4 年法律第 75 号) に基づく国内希少野生動植物種であり環境省が作成したレッドリストに掲載されている絶滅危惧 I A 類のウミガラスの他、絶滅危惧 I A 類のウミスズメ、絶滅危惧 II 類のケイマフリ、ウトウなど八種類計約六十万羽に及ぶ海鳥の重要な繁殖地となっている。

このように、当該区域は海鳥の集団繁殖地として重要な場所であることから、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律 (平成 14 年法律第 88 号) 第 29 条第 1 項に規定する特別保護地区に指定し、当該区域で繁殖する海鳥を始めとする鳥獣の保護を図るものである。

## 2 特別保護地区の保護に関する指針

### 保護管理方針

- 1) 集団繁殖地の保護区として、ウミガラスを始めとする海鳥の保護と繁殖地の保全を図るため適切な管理に努める。
- 2) 鳥類のモニタリング調査等を通じて、区域内の鳥類の生息状況の把握に努める。
- 3) 鳥類の生息・繁殖環境を適切に保護するため、現場の巡視、関係地方公共団体、関係機関、地域住民等と連携協力した普及啓発活動等に取り組む。

3 特別保護地区の区域に編入しようとする土地の地目別面積及び水面の面積

総面積	117ha		
内訳			
ア 形態別内訳			
林野	- ha		
農耕地	- ha		
水面	- ha		
その他	117ha		
イ 所有者別内訳			
国有地	87ha		
{ 国有林 { 林野庁所管 { 制限林 { 普通林 { 国有林以外の国有地 (財務省所管)	- ha	- ha	{ 保安林 - ha { 砂防指定地 - ha { その他 - ha
	- ha	- ha	
	87ha		
地方公共団体有地	30ha	{ 道有地 - ha { 町有地 30ha	
私有地等	- ha		
公有水面	- ha		
ウ 他の法令による規制区域			
自然環境保全法による地域	- ha	自然環境保全地域特別地区 - ha 自然環境保全地域普通地区 - ha	
自然公園法による地域	117ha	特別保護地区	117ha
名称 (暑寒別天売焼尻国定公園)		特別地域	- ha
		普通地域	- ha
文化財保護法による地域			
名称 (国指定天然記念物 天売島海鳥繁殖地)			117ha

#### 4 指定区域における鳥獣の生息状況

##### (1) 当該地域の概要

###### ア 特別保護地区の位置

天売島は、北海道北西部の日本海側、羽幌港から西北西約 28km の沖合に位置している。当該区域は、天売島の北西部一帯と周辺の岩礁から構成されている。

###### イ 地形、地質等

天売島北西部は海蝕地形が発達し、100m を超える急な崖が海に臨み、歩行不可能なところが多い。天売島西南端の赤岩には赤褐色の火山角礫岩が発達する。赤岩灯台付近より屏風岩にかけての崖に露出する火山岩類はゆるやかに東に傾いているのが観察される。島の北側の観音岬付近には上部溶岩が露出し、板状節理が発達する。

###### ウ 植物相の概要

天売島北西岸では、海岸断崖上部に草本群落としてナガバキタアザミートウゲブキ群落が形成されており、イワヨモギ、センダイハギ、エゾノヨロイグサ、オオブキ、アキカラマツなどがみられる。本群落は冬季季節風を直接受ける海岸断崖に成立する自然草原群落であり、特に海鳥の営巣が多い箇所はイワヨモギやイワノガリヤス、オオイタドリが優占する。

近年、ウトウの繁殖地である西端部ではイワノガリヤスの面積が拡大しており、一部では裸地化が進んでいる。

###### エ 動物相の概要

島の北西部の崖地岩棚及び上部斜面で、環境省が作成したレッドリストで絶滅危惧 IA 類のウミガラス、同絶滅危惧 II 類のケイマフリ、同絶滅危惧 IA 類のウミスズメのほか、ウミウ、同絶滅危惧 IB 類のヒメウ、オオセグロカモメ、ウミネコ及びウトウの 8 種の海鳥が繁殖している。なかでもウトウは近年の知見ではおよそ 30 万つがいと推定されており、世界最大級の繁殖地となっている。またウミガラスとウミスズメは国内では天売島でのみ繁殖している。

ウミガラスは、近年、生息数が数つがい十数羽と減少しており、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成 4 年法律第 75 号）に基づき、保護増殖事業が展開されている。

ウミガラス以外の海鳥について、鳥獣保護区当初指定時（1980 年代）と比べると、ウミネコは大幅に減少しているが、ウトウやオオセグロカモメなどは増加している。

獣類は、ゴマフアザラシのほか、オオアシトガリネズミ、エゾヤチネズミが確認されている。

(2) 生息する鳥獣類

ア 鳥類 別表参照

イ 獣類 別表参照

(3) 当該地域の農林水産物の被害状況

なし

5 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律第32条の規定による補償に関する事項

当該区域において、第32条に規定する損失を受けた者に対しては、通常生ずべき損失を補償する。

6 施設整備に関する事項

(1)鳥獣保護区用制札 3本

(2)特別保護地区用制札 5本

(3)案内板 1基

## 別表

## ア.鳥類

目	科	種または亜種	種の指定等
【アビ目】	アビ科	アビ	
		オオハム	
		シロエリオオハム	
		ハシジロアビ	
【カイツブリ目】	カイツブリ科	カイツブリ	
		ハジロカイツブリ	
		ミミカイツブリ	
		アカエリカイツブリ	
		カンムリカイツブリ	
【ミズナギドリ目】	ミズナギドリ科	フルマカモメ	
		アカアシミズナギドリ	
		ハイイロミズナギドリ	
		ハシボソミズナギドリ	
	ウミツバメ科	ハイイロウミツバメ	
【ペリカン目】	ウ科	カワウ	
		○ ウミウ	
	○ ヒメウ	EN	
	グンカンドリ科	コグンカンドリ	
【コウノトリ目】	サギ科	<u>サンカノゴイ</u>	EN
		ヨシゴイ	NT
		ゴイサギ	
		ササゴイ	
		アカガシラサギ	
		アマサギ	
		ダイサギ	
		チュウサギ	NT
		コサギ	
	アオサギ		
	トキ科	ヘラサギ	DD
【カモ目】	カモ科	<u>マガン</u>	NT、国天
		<u>ヒシクイ</u>	VU、国天
		オオハクチョウ	
		コハクチョウ	

目	科	種または亜種	種の指定等
		オシドリ	DD
		マガモ	
		カルガモ	
		○ コガモ	
		ヨシガモ	
		オカヨシガモ	
		ヒドリガモ	
		オナガガモ	
		シマアジ	
		ハシビロガモ	
		キンクロハジロ	
		ホシハジロ	
		スズガモ	
		コケワタガモ	
		クロガモ	
		ピロードキンクロ	
		○ シノリガモ	
		コオリガモ	
		ホオジロガモ	
		ミコアイサ	
		○ ウミアイサ	
【タカ目】	タカ科	ミサゴ	NT
		○ トビ	
		<u>オジロワシ</u>	国内希少、EN、国天
		<u>オオワシ</u>	国内希少、VU、国天
		<u>オオタカ</u>	国内希少、NT
		ツミ	
		ハイタカ	NT
		ケアシノスリ	
		オオノスリ	
		ノスリ	
		ハイイロチュウヒ	
		マダラチュウヒ	
		<u>チュウヒ</u>	EN
	ハヤブサ科	シロハヤブサ	

目	科	種または亜種	種の指定等
		<u>ハヤブサ</u>	国内希少、VU
		チゴハヤブサ	
		アカアシチョウゲンボウ	
		チョウゲンボウ	
		コチョウゲンボウ	
【キジ目】	キジ科	ウズラ	NT
		コウライキジ	
【ツル目】	ツル科	<u>ナベヅル</u>	国際希少、VU
		カナダヅル	
	クイナ科	ヒクイナ	VU
		シロハラクイナ	
		オオバン	
【チドリ目】	チドリ科	コチドリ	
		イカルチドリ	
		メダイチドリ	
		ムナグロ	
		タゲリ	
	シギ科	キョウジョシギ	
		トウネン	
		オジロトウネン	
		ヒバリシギ	
		ハマシギ	
		サルハマシギ	
		<u>アカアシシギ</u>	VU
		コアオアシシギ	
		アオアシシギ	
		クサシギ	
		タカブシギ	
		メリケンキアシシギ	
		キアシシギ	
		イソシギ	
		ソリハシシギ	
		チュウシャクシギ	
		ヤマシギ	
		タシギ	



目	科	種または亜種	種の指定等
		オオジシギ	NT
		コシギ	
	セイタカシギ科	<u>セイタカシギ</u>	VU
	ヒレアシシギ科	ハイイロヒレアシシギ アカエリヒレアシシギ	
	ツバメチドリ科	<u>ツバメチドリ</u>	VU
	トウゾクカモメ科	クロトウゾクカモメ トウゾクカモメ	
	カモメ科	ユリカモメ セグロカモメ ○ オオセグロカモメ ワシカモメ シロカモメ カモメ ○ ウミネコ ミツユビカモメ アカアシミツユビカモメ クロハラアジサシ アジサシ <u>コアジサシ</u>	国際希少、VU
	ウミスズメ科	<u>ウミガラス</u> ハシブトウミガラス ○ <u>ケイマフリ</u> マダラウミスズメ <u>ウミスズメ</u> エトロフウミスズメ シラヒゲウミスズメ コウミスズメ ウミオウム ウトウ <u>エトピリカ</u>	国内希少、CR  VU DD CR    国内希少、CR
【ハト目】	ハト科	○ キジバト アオバト	
【カッコウ目】	カッコウ科	ジュウイチ カッコウ	

目	科	種または亜種	種の指定等
		ツツドリ	
		ホトギス	
【フクロウ目】	フクロウ科	シロフクロウ	
		トラフズク	
		コミミズク	
		コノハズク	
		オオコノハズク	
		アオバズク	
		フクロウ	
【アマツバメ目】	アマツバメ科	ハリオアマツバメ	
		○ アマツバメ	
		ヒマラヤアマツバメ	
【ブッポウソウ目】	カワセミ科	ヤマショウビン	
		カワセミ	
	ブッポウソウ科	ブッポウソウ	EN
	ヤツガシラ科	ヤツガシラ	
【キツツキ目】	キツツキ科	アリスイ	
		○ アカゲラ	
		コアカゲラ	
		コゲラ	
【スズメ目】	ヒバリ科	ヒメコウテンシ	
		コウテンシ	
		ヒバリ	
	ツバメ科	ショウドウツバメ	
		ツバメ	
		コシアカツバメ	
		イワツバメ	
	セキレイ科	ツメナガセキレイ	
		キセキレイ	
		○ ハクセキレイ	
		セグロセキレイ	
		マミジロタヒバリ	
		ヨーロッパビンズイ	
		ビンズイ	
		セジロタヒバリ	

目	科	種または亜種	種の指定等
		ムネアカタヒバリ	
		タヒバリ	
	サンショウクイ科	サンショウクイ	VU
	ヒヨドリ科	○ ヒヨドリ	
	モズ科	チゴモズ	CR
		○ モズ	
		アカモズ	EN
		オオモズ	
		オオカラモズ	
	レンジャク科	キレンジャク	
		ヒレンジャク	
	ミソサザイ科	ミソサザイ	
	イワヒバリ科	イワヒバリ	
	ツグミ科	コマドリ	
		シマゴマ	
		ノゴマ	
		コルリ	
		ルリビタキ	
		ジョウビタキ	
		○ ノビタキ	
		ハシグロヒタキ	
		セグロサバクヒタキ	
		サバクヒタキ	
		イソヒヨドリ	
		ヒメイソヒヨ	
		トラツグミ	
		マミジロ	
		カラアカハラ	
		クロツグミ	
		アカハラ	
		シロハラ	
		マミチャジナイ	
		○ ツグミ	
	ウグイス科	ヤブサメ	
		○ ウグイス	

目	科	種または亜種	種の指定等
		○ エゾセンニュー	
		シマセンニュー	
		マキノセンニュー	
		○ コヨシキリ	
		オオヨシキリ	
		キマユムシクイ	
		カラフトムシクイ	
		メボソムシクイ	
		ムジセッカ	
		エゾムシクイ	
		センダイムシクイ	
		ククイタダキ	
	ヒタキ科	マミジロキビタキ	
		キビタキ	
		ムギマキ	
		オジロビタキ	
		オオルリ	
		サメビタキ	
		エゾビタキ	
		コサメビタキ	
	エナガ科	エナガ	
	シジュウカラ科	ヒガラ	
		ヤマガラ	
		シジュウカラ	
	ゴジュウカラ科	ゴジュウカラ	
	キバシリ科	キバシリ	
	メジロ科	メジロ	
		チョウセンメジロ	
	ホオジロ科	シラガホオジロ	
		ホオジロ	
		シロハラホオジロ	
		ホオアカ	
		コホオアカ	
		キマユホオジロ	
		カシラダカ	

目	科	種または亜種	種の指定等
		ミヤマホオジロ	
		シマアオジ	CR
		シマノジロ	
		ノジロ	NT
		○ アオジ	
		クロジ	
		オオジュリン	
		ツメナガホオジロ	
		ユキホオジロ	
	アトリ科	アトリ	
		○ カワラヒワ	
		マヒワ	
		ベニヒワ	
		コベニヒワ	
		ハギマシコ	
		アカマシコ	
		オオマシコ	
		ギンザンマシコ	
		イスカ	
		ベニマシコ	
		ウソ	
		コイカル	
		イカル	
		シメ	
	ハタオリドリ科	ニューナイスズメ	
		○ スズメ	
	ムクドリ科	ギンムクドリ	
		シベリアムクドリ	
		○ コムクドリ	
		ホシムクドリ	
		ムクドリ	
	コウライウグイス科	コウライウグイス	
	カラス科	カササギ	
		ホシガラス	
		ニシコクマルガラス	

目	科	種または亜種	種の指定等
		コクマルガラス	
		ミヤマガラス	
		○ ハシボンガラス	
		○ ハシブトガラス	
		ワタリガラス	
合計	17 目	53 科	283 種

## イ. 獣類

目	科	種または亜種	種の指定等
【モグラ目】	トガリネズミ科	オオアシトガリネズミ	
【ネコ目】	アザラシ科	ゴマフアザラシ	
【ネズミ目】	ネズミ科	エゾヤチネズミ	
合計	3目	3科	3種

(注)

1. 鳥獣の目・科・種(和名)及び配列は、日本野生鳥獣目録(平成14年7月、環境省自然環境局 野生生物課)に拠った。

2. 種の指定等の要件は次のとおりである。

国天:国指定天然記念物

国特天:国指定特別天然記念物

レッドリスト(平成18年、環境省)(ア. 鳥類)

レッドリスト(平成19年、環境省)(イ. 獣類)

CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧

DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群

国内希少:絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律による国内希少野生動植物種

国際希少:絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律による国際希少野生動植物種

3. ○印は一般的に見られる鳥獣。アンダーラインは鳥獣保護及び狩猟の適正化に関する法律第7条第5項第1号の規定により特に保護を図る必要があるものとして環境省令で定める鳥獣及び天然記念物に指定された鳥獣。

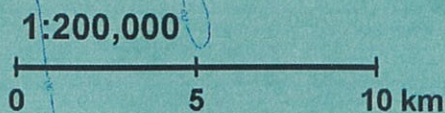


# 国指定天売島鳥獣保護区位置図



凡例

	鳥獣保護区
	特別保護地区



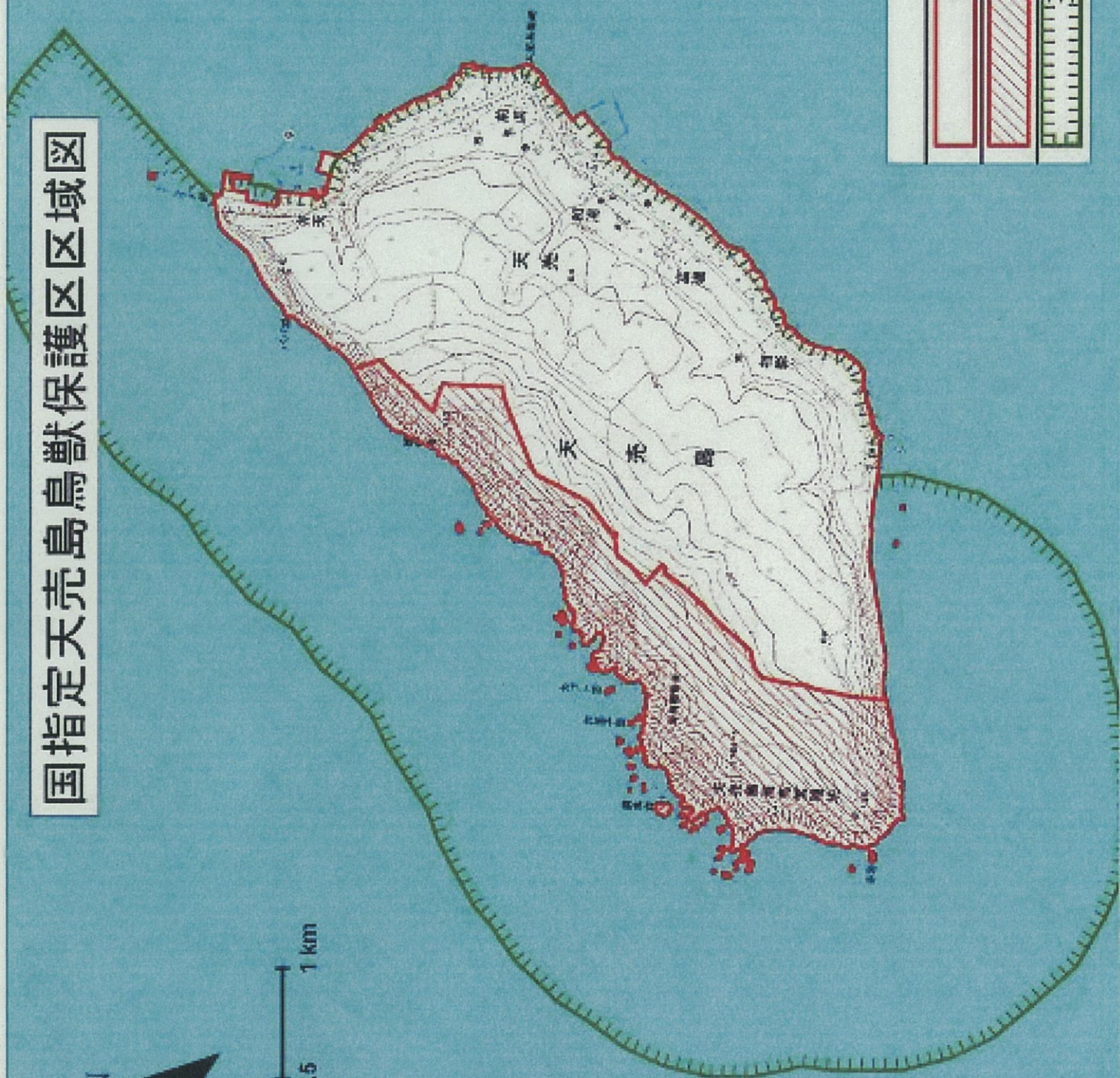


# 国指定天壳島鳥獸保護区区域図






1:25,000  
0 0.5 1 km

羽 武 羅 水 道



凡例

	鳥獸保護区
	特別保護地区
	香寒別天壳焼尻国定公園



国指定天売島鳥獣保護区天売島特別保護地区指定公聴会調書

1 名 称

国指定天売島鳥獣保護区天売島特別保護地区

2 開催日時

平成23年8月10日(水) 14時00分から14時30分まで

3 開催場所

羽幌町役場4階「大会議室」  
北海道苫前郡羽幌町南町1-1

4 議長名

北海道地方環境事務所野生生物課長  
環境技官 伊藤 勇三

5 公述人出欠

指 名 数	本人出席	代理出席	欠 席
9人	1人	4人	4人

6 公述人賛否等

賛 成	条件付賛成	反 対
9人	0人	0人

7 傍聴者

1人

8 議長の判断

公述人の全員が賛成であり、案のとおり指定することが適当である。

## 9 公聴会公述人名簿

職名 (代理人職名)	氏名 (代理人名)	住所	郵便番号
北海道知事	高橋 はるみ	北海道札幌市中央区北3条西6丁目 TEL 011-231-4111	060-8588
北海道教育委員会 教育長	高橋 教一	北海道札幌市中央区北3条西7丁目 TEL 011-231-4111	060-8544
羽幌町長	舟橋 泰博	北海道苫前郡羽幌町南町1番地の1 TEL 0164-62-1211	078-4198
羽幌町教育委員会 教育長	石川 宏	北海道苫前郡羽幌町南6条2丁目 TEL 0164-62-5880	078-4106
留萌中部森林組合 代表理事組合長	千葉 國雄	北海道苫前郡苫前町字旭37番地の1 苫前町役場内 TEL 0164-64-2869	078-3711
北るもい漁業協同組合 代表理事組合長	今 隆	北海道苫前郡羽幌町港町1丁目31番地 TEL 0164-62-1291	078-4120
羽幌町観光協会 会長	宮崎 尚武	北海道苫前郡羽幌町南町1番地の1 羽幌町役場内 TEL 0164-62-1211	078-4198
日本野鳥の会道北支部 支部長	小杉 和樹	北海道利尻郡利尻町字沓形栄浜142 (佐藤 方) TEL 0163-89-4334	097-0401
社団法人 北海道猟友会 会長	天崎 弘	北海道札幌市北区北6条西6丁目2番地 第2山崎ビル3階 TEL 011-747-2006	060-0806

10 公述人の意見概要

職名	賛成	条件付賛成	反対	意見の概要
北海道知事 高橋 はるみ	○			
北海道教育委員会 教育長 高橋 教一	○			
羽幌町長 船橋 泰博	○			
羽幌町教育委員会 教育長 石川 宏	○			
留萌中部森林組合 代表理事組合長 千葉 國雄	○			
北るもい漁業協同組合 代表理事組合長 今 隆	○			
羽幌町観光協会 会長 宮崎 尚武	○			
日本野鳥の会 道北支部 支部長 小杉 和樹	○			
(社)北海道猟友会 会長 天崎 弘	○			海鳥の集団繁殖地及び渡り鳥の休息地として、引き続き確保することが必要な地域と考えている。

平成23年8月12日

議長

北海道地方環境事務所

野生生物課長

伊藤 勇三 